

医療情報部

1 構 成 員

	平成 27 年 3 月 31 日現在	
教授	1 人	
病院教授	0 人	
准教授	0 人	
病院准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	0 人	(0 人)
病院講師	0 人	
助教（うち病院籍）	0 人	(0 人)
診療助教	0 人	
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人	
医員	0 人	
研修医	0 人	
特任研究員	0 人	
大学院学生（うち他講座から）	0 人	(0 人)
研究生	1 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	0 人	
その他（技術補佐員等）	1 人	
合計	3 人	

2 教員の異動状況

木村 通男（教 授）(H8.10.1.～現職)

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 26 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	5 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	14.53	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	3 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	2 編	(2 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	1 編	(1 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
1. *Kimura M., Nakaya J., Watanabe H., Shimizu T., Nakayasu K.: A Survey Aimed at General Citizens of the US and Japan about Their Attitudes toward Electronic Medical Data Handling, INTERNATIONAL JOURNAL OF ENVIRONMENTAL RESEARCH AND PUBLIC HEALTH, 11(5): 4572-4588, MAY 2014. DOI: 10.3390/ijerph110504572 【医療情報学】 [1.99]
インパクトファクターの小計 [1.99]
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの
1. *T. Hanatani, K. Sai, M. Tohkin, K. Segawa, Y. Antoku, N. Nakashima, H. Yokoi, K. Ohe, M. Kimura, K. Hori, J. Kawakami, Y. Saito: Evaluation of two Japanese regulatory actions using medical information databases: a ‘Dear Doctor’ letter to restrict oseltamivir use in teenagers, and label change caution against co-administration of omeprazole with clopidogrel., J Clin Pharm Ther., 39(4):361-7. 2014 Aug, Doi: 10.1111/jcpt.12153. [1.53]
 2. *Tadaaki Hanatani, Kimie Sai, Masahiro Tohkin, Katsunori Segawa, Michio Kimura, Katsuhito Hori, Junichi Kawakami, Yoshiro Saito: A detection algorithm for drug-induced liver injury in medical information databases using the Japanese diagnostic scale and its comparison with the Council for International Organizations of Medical Sciences/the Roussel Uclaf Causality Assessment Method scale, Pharmacoepidemiology and Drug Safety(23): 984-988, SEP 2014. DOI: 10.1002/pds.3603 【薬剤疫学】 [3.17]
 3. *Hanatani, T., Sai, K., Tohkin, M., Segawa, K., Kimura, M., Hori, K., Kawakami, J., Saito, Y: Identification of Drug-Induced Liver Injury in Medical Information Databases Using the Japanese Diagnostic Scale, PHARMACOEPIDEMIOLOGY AND DRUG SAFETY, 23(S1):418-419, OCT. 2014 【薬剤疫学】 [3.17]
 4. Yasunobu Nohara¹, Eiko Kai, Partha Pratim Ghosh, Rafiqul Islam, Ashir Ahmed, Masahiro Kuroda, Sozo Inoue, Tatsuo Hiramatsu, Michio Kimura, Shuji Shimizu, Kunihisa Kobayashi, Yukino Baba, Hisashi Kashima, Koji Tsuda, Masashi Sugiyama, Mathieu Blondel, Naonori Ueda, Masaru Kitsuregawa, Naoki Nakashima¹: Health Checkup and Telemedical Intervention Program for Preventive Medicine in Developing Countries: Verification Study, JOURNAL OF MEDICAL INTERNET RESEARCH, 17(1):e2-1-14, 2015. 【医療情報学】 [4.67]
インパクトファクターの小計 [12.54]

(2-1) 論文形式のプロシーディングズ

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
1. 木村通男, 山口光峰, 久保田潔, 堀雄史: 薬剤疫学的利用のための医療情報システム DB 分析

の実際, 第 34 回医療情報学連合大会, 医療情報学 第 34 回医療情報学連合大会論文集 34(Suppl.)42-43, 2014. 【医療情報学】

2. 木村通男: SS-MIX 標準ストレージを活用した製造販売後の調査・臨床研究推進に関する提言 SS-MIX を実装した医療機関に何ができるか?, 臨床医薬 30(11)925(3)-932(10), 2014. 【医療情報学】

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの

1. 高林克日巳, 木村通男, Felix HJM Cillessen, Rolf Engelbrecht, 雀東鎮:—日本の HER の今後の方向を考える上での参考事例—, 第 34 回医療情報学連合大会, 医療情報学 第 34 回医療情報学連合大会論文集 34(Suppl.)18, 2014. 【医療情報学】

(2-2) レター

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 木村通男: 地域連携にいま不足しているもの, 映像情報 46(4):314-315, 2014. 【医療情報学】
2. 木村通男: SS-MIX 標準ストレージを活用した製造販売後の調査・臨床研究推進に関する提言 SS-MIX を実装した医療機関に何ができるか?, 臨床医薬 30(11)925(3)-932(10), 2014. 【医療情報学】

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの

(4) 著 書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 木村通男 (編集): 電子カルテ・医療情報システム部品集 2015, 発行: 地域情報化研究所, 発売: 株式会社インナービジョン (東京都), 2014.

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの

(5) 症例報告

4 特許等の出願状況

	平成 26 年度
特許取得数 (出願中含む)	0 件

5 医学研究費取得状況

(万円未満四捨五入)

	平成 26 年度	
(1) 文部科学省科学研究費	0 件	(0 万円)
(2) 厚生労働省科学研究費	3 件	(570 万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0 件	(0 万円)
(4) 財団助成金	0 件	(0 万円)
(5) 受託研究または共同研究	1 件	(300 万円)
(6) 奨学寄附金その他 (民間より)	1 件	(270 万円)

(1) 文部科学省科学研究費

(2) 厚生労働省科学研究費

木村通男(代表者) 地域医療基盤開発推進研究事業

医療情報システムのデータを利用した薬剤市販後調査の効率化に関する研究
(H25-医療-指定-010) 526.5 万円 (継続)

木村通男(分担者) 医薬品等規制調和・評価研究事業

Mid-NET を用いた医薬品等のベネフィット・リスク評価のための薬剤疫学研究
等の実践的な分析手法及び教育に関する研究(新規) 90 万円 (代表者:中島
直樹(九州大学))

木村通男(分担者) 医薬品等規制調和・評価研究事業

医薬品等の市販後安全対策のための医療情報データベースの利活用方法に
関する薬剤疫学研究 (H26-医薬 B-一般-007) (新規) 75 万円 (代表者:川上
純一(浜松医科大学))

(3) 他政府機関による研究助成

(4) 財団助成金

(5) 受託研究または共同研究

木村通男 標準化規格準拠の電子的医療情報データの利活用に関する研究 300 万円

6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表, 総括

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	3 件	6 件
(2) シンポジウム発表数	2 件	4 件
(3) 学会座長回数	0 件	3 件
(4) 学会開催回数	1 件	0 件
(5) 学会役員等回数	3 件	5 件
(6) 一般演題発表数	0 件	

(1) 国際学会等開催・参加

- 1) 国際学会・会議等の開催
 - Kimura M.: Organizer, ISO/TC215 Health Informatics, Karuizawa, Japan, May 19-23, 2014. 約 200 名
- 2) 国際学会・会議等における基調講演・招待講演
 - Kimura M.: Mobile health for cancer disease management and integrated care, mHealth SDA Bocconi2014, Milano, Italy, April 4, 2014. (招待講演)
 - Kimura M.: Japan's Challenges with Integrating EHRs with Health Insurance Systems, 4th Annual EHR2014, Singapore, June 18, 2014.(特別講演)
 - Kimura M.: Getting Data out of HIS in a Standardized Way, Tohoku Forum of Creativity, Sendai, Japan February 24, 2015. (招待・基調講演)
- 3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表
 - Kimura M.: Large Healthcare Databases in Japan, CJKMI2014, Busan, Korea, October 27, 2014.
 - Kimura M.: History of APAMI, APAMI2014, Delhi, India, November 1, 2014.
- 4) 国際学会・会議等での座長
- 5) 一般発表
 - 口頭発表
 - ポスター発表
- (2) 国内学会の開催・参加
 - 1) 主催した学会名
 - 2) 学会における特別講演・招待講演
 - 木村通男: 一地域医療情報システムは地域医療の敵か味方か、一医療情報の未来医療 ID、全件データ、医療評価, 神奈川県保険医協会講演会, 5月27日, 2014. 横浜市
 - 木村通男: 電子カルテは何をもたらし、今後どう使うか, 第36回 POS 医療学会大会, 6月28日, 2014. 熱海市
 - 木村通男: SS-MIX と SS-MIX を使う市販後調査の可能性, 一般財団法人日本化学技術連盟 2014 年度薬剤疫学セミナー, 7月7日, 2014. 東京都
 - 木村通男: 医療 ICT, JST-CRDS ライフサイエンス・臨床医学ユニット”健康医療全般区分俯瞰ワークショップ”, 10月3日, 2014. 東京都
 - 木村通男: 標準化：次にやること一文書形式とその扱い, 第9回日本医療情報学会中部支部会学術集会, 10月4日, 2014. 名古屋市
 - 木村通男: IT を活用した地域医療連携システムについて, 大阪府医師会第27回医療情報に関する講演会, 3月14日, 2015 大阪市
 - 3) シンポジウム発表
 - 木村通男: Problems and state of the art on inter-facility healthcare information exchange-infrastructure, Examination Code, and Liability 医療情報連携の問題点と現

状での解決 —IT 基盤, 検査コード, 責任範囲, 第 70 回日本放射線技術学会総会
学術大会, 4 月 12 日, 2014. 横浜市

木村通男: 厚生労働省規格を目指す, JAHIS-JIRA の報告書標準規格, 第 27 回電子情報研究会
学術集会, 9 月 27 日, 2014 神戸市

木村通男: 継続可能な地域医療情報連携—受け渡しできる情報と IT 基盤整備, 日本医療情報
学会テーマ学術集会 10 月 4 日, 2014. 名古屋市

木村通男: 国立大学全 46 病院情報システムバックアップ—The Gemini Project, 第 20 回日本集
団災害医学会総会・学術集会, 2 月 27 日, 2015. 立川市

4) 座長をした学会名

木村通男: 第 73 回日本医学放射線学会総会, 4 月 12 日, 2014. 横浜市

木村通男: 第 18 回日本医療情報学会春季学術大会, 6 月 7 日, 2014. 岡山市

木村通男: 第 34 回日本医療情報学連合大会 (第 15 回日本医療情報学会学術大会), 11 月 5 日, 6
日, 2014. 千葉市

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

Kimura M.: Fellow, American Medical Informatics Association American College of Medical Informatics

Kimura M.: Vice President, International Association for Medical Informatics

Kimura M.: Fellowship, Health Level Seven International

木村通男 日本医療情報学会中部支部会 世話人

木村通男 日本医学放射線学会 電子情報委員会委員

木村通男 日本放射線技術学会 学術委員会医療被ばく関連情報小委員会委員

木村通男 日本 IHE 協会 副理事長、運営委員会委員、国際委員会委員長

木村通男 日本 HL7 協会 会長

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数 (レフリー数は除く)	0 件	5 件

(1) 国内の英文雑誌等の編集

(2) 外国の学術雑誌の編集

Kimura M.: Journal of American Medical Informatics Association, BMJ Publishing Group, England,
Editorial Board, PubMed/MEDLINE 登録あり, インパクトファクター: 3.93

Kimura M.: Methods of Information in Medicine, Schattauer, Germany, Editorial Board,
PubMed/MEDLINE 登録あり, インパクトファクター: 1.08

Kimura M.: International Journal of medical Informatics, Elsevier, Ireland, Editorial Board,
PubMed/MEDLINE 登録あり, インパクトファクター: 2.72

Kimura M.: Journal of Biomedical Informatics, Academic Press Inc. Elsevier Science, USA, Editorial
Board, PubMed/MEDLINE 登録あり, インパクトファクター: 2048

Kimura M.: Healthcare Informatics Research, The Korean Society of Medical Informatics, Korea, Editorial
Board, PubMed/MEDLINE 登録あり

(3) 国内外の英文雑誌のレフリー

- 3 回: Methods of Information in Medicine (ドイツ)
- 2 回: International Journal of Medical Informatics (アイルランド)
- 5 回: Journal of American Medical Informatics Association (アメリカ合衆国)
- 2 回: Computer Methods and Programs in Biomedicine (アイルランド)
- 2 回: IEEE Transaction on Services Computing (アメリカ合衆国)

9 共同研究の実施状況

	平成 26 年度
(1) 国際共同研究	0 件
(2) 国内共同研究	0 件
(3) 学内共同研究	0 件

10 産学共同研究

	平成 26 年度
産学共同研究	1

1. 標準化規格準拠の電子的医療情報データの利活用に関する研究

11 受賞

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

1. 独立行政法人医薬品医療機器総合機構 (PMDA) の電子情報等の安全対策への活用に関する検討会への専門委員としての参画・指導
昨年度に続き、既に 6 年目となるが、専門的見解を提示した。
(木村通男)
2. 厚生労働省医薬食品局の医療情報データベース基盤整備事業への参画と指導
本院が上記事業の全国 10 医療機関に選定され、平成 25 年度に続き、今年度も厚生労働省の委託事業として、DB のバリデーションを実施した。
(木村通男)

13 この期間中の特筆すべき業績、新技術の開発

電子カルテ上にスタンプのように臨床項目、あるいはケースカードを「押し」、その項目のうち検査結果などは、電子カルテから自動でインポートし、必要な項目は、入力、埋まったスタンプは、電子カルテの内容として保存され、一方でスタンプ内容は、EXCEL ファイルとして出力するシステムを開発した。臨床研究などでの利用が期待される。
(木村通男)

14 研究の独創性, 国際性, 継続性, 応用性

当部が中心となって開発し、静岡県版電子カルテシステム事業を経て、厚生労働省電子的診療情報交換推進事業（SS-MIX）成果物として採用された、SS-MIX 標準化ストレージは、全国 358 医療機関で稼働している（平成 26 年 6 月現在）。

フィリピン政府より台風の復興予算による SS-MIX 成果物利用のオファーが寄せられ、現地にて指導を行った。

（木村通男）

15 新聞, 雑誌等による報道

1. 情報デモクラシー2014 診療明細販売野放し 毎日新聞 4月7日 2014
広がる電子カルテ標準化
2. 薬事日報 9月5日, 2014